国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure and Transport Japan
Press Release

関東地方整備局同時発表

平成２８年２月２２日
道路局国道・防災課

平成２７年６月７日（日）に圏央道（神崎（こうざき）ＩＣ～大栄（たいえい）ＪＣＴ）が開通
圏央道により常磐道から東関東道がつながりました
圏央道のストック効果※をお知らせします

標記について、別紙のとおり発表されましたので、お知らせします。

なお、詳細につきましては、関東地方整備局、東日本高速道路株式会社の問い合わせ先におたずね願います。

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期的に得られる効果

【問い合わせ先】
国土交通省　道路局　国道・防災課　企画専門官　　依田　秀則
TEL：(03) 5253-8111　(内線37832)
直通 03-5253-8492　FAX：03-5253-1620

国土交通省関東地方整備局　常総国道事務所　副所長　吉田　武史
計画課長　佐藤　潤
TEL：029-826-2040（代表）

東日本高速道路株式会社【報道関係専用】関東支社広報課
TEL：048-631-0222

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

NEXCO 東日本

つながる。まわる。圏央道。
圏央道（神崎IC～大栄JCT）が開通しました

平成２８年２月２２日（月）

－　記者発表資料　－

国土交通省
東日本高速道路株式会社

平成27年6月7日(日)に圏央道（神崎(こうざき)IC～大栄(たいえい)JCT）が開通

圏央道により常磐道から東関東道がつながりました

圏央道のストック効果※をお知らせします

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期的に得られる効果

〈主なストック効果〉

○インバウンド観光を後押し（p2）

・圏央道の開通による成田空港からのアクセス向上を茨城県がＰＲ
・成田空港から水戸を経由するバスツアーを増便[２本／年から４０本／年]する旅行会社もあり、
県周遊ツアー数が増加[前年度の２．８倍※]　※平成27年度は4月～12月の9ヶ月
・一昨年全国34位だった外国人宿泊者数が、昨年30位※に
県では、県内の圏央道全通を見据え、更なるインバウンド観光推進のための方策を検討中
※1月～11月速報値

○一般道が安全・快適に（p3）

・圏央道に交通が転換したことで、一般道がスムーズになり、急ブレーキの発生割合が減少
・成田警察署管内（成田市）の一般道の交通事故発生件数※が前年比約４％減少
※物損事故件数及び人身事故件数の概数

○企業の生産性向上やドライバーの労働環境改善に貢献（p4）

・１台のトラックが１日のうちに複数箇所への輸送が可能になるなど、トラックの稼働率が向上し、
企業の生産性向上に寄与
・ドライバーの拘束時間の減少が見込めるなど、労働環境の改善に期待

○緊急・災害時に迂回が可能に「圏央道－東関東道経由」（p5）

・常磐道の通行止時に、つくば～箱崎間の迂回機能を圏央道・東関東道で発揮
迂回により圏央道の交通量が約８割増加

平成２８年度には、東名高速から東関東道が圏央道でつながります。
圏央道（境古河(さかいこが)IC～つくば中央IC間）開通予定

発表記者クラブ

国土交通省記者会　国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会
埼玉県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
千葉県政記者会、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、八王子記者クラブ、立川市政記者クラブ
青梅・西多摩記者クラブ、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会、相模原記者クラブ

問　い　合　わ　せ　先

国土交通省　関東地方整備局　常総国道事務所　　電話: 029-826-2040（代表）
副所長　吉田(よしだ)　武史(たけし)　　計画課長　佐藤(さとう)　潤(じゅん)

東日本高速道路株式会社
【報道関係専用】　関東支社広報課　　電話：048-631-0222
【お客さま窓口】　ＮＥＸＣＯ東日本お客さまセンター　電話：0570-024-024
ＰＨＳ・ＩＰ電話のお客さま　電話：03-5338-7524

効果① インバウンド観光を後押し

●圏央道の開通による成田空港からのアクセス向上を茨城県がPR
●成田空港から水戸を経由するバスツアーを増便[２本／年から４０本／年]する旅行会社もあり、県周遊ツアー数が増加[前年度の２．８倍※]
※平成27年度は4月～12月までの9ヶ月間
●一昨年全国34位だった外国人宿泊者数が、昨年30位※に
県では、県内の圏央道全通を見据え、更なるインバウンド観光推進のための方策を検討中　※1月～11月速報値

成田空港発茨城県経由の外国人旅行者向けバスツアーが増加

■茨城県　観光物産課の声

茨城県
観光物産課

・外国人観光客を取り込むため、アジア圏の旅行会社へ向けて、観光地の魅力と、**圏央道の開通によるアクセス性の向上について、PR活動を実施**しています。
・県内の圏央道全通を見据え、**更なるインバウンド観光推進のため他県との広域的な周遊観光強化を検討**しています。

出典）平成28年1月　ヒアリング調査（常総国道事務所調べ）

出典）所要時間はプローブデータの平日平均旅行速度を用いて算出
（開通前：H26.11プローブデータ、開通後：H27.11プローブデータ）
※成田空港～水戸市役所間の所要時間を算出

■袋田の滝関係者の声

袋田観瀑施設
管理事務所

・袋田の滝を訪れる外国人観光客は増えており、特に、**圏央道開通後は、ツアーバスで訪れる外国人観光客が増えてきています。**

出典）平成28年1月　ヒアリング調査（常総国道事務所調べ）

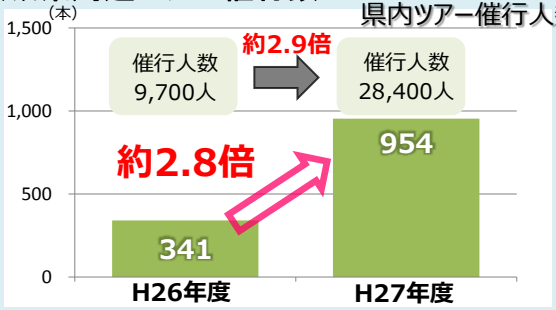
■茨城方面への観光ツアーを催行する旅行会社の声

太平洋旅行社
（台湾）

・圏央道の開通に伴い、那須方面に向かう周遊ツアーは、**都心経由から水戸経由にルート変更**しました。
・水戸に立ち寄るバスツアーは、**２本/年から４０本/年に増えています。**

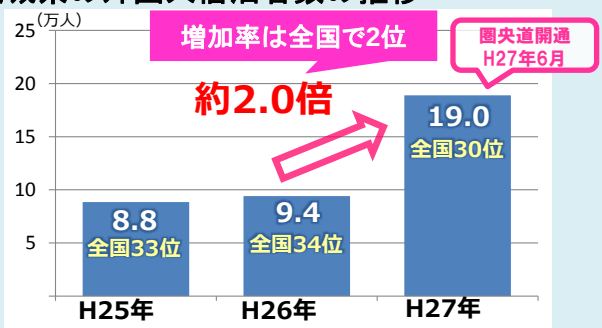
出典）平成28年1月　ヒアリング調査（常総国道事務所調べ）

■茨城県周遊ツアー催行数



出典：茨城県より提供　※H27年度は12月まで

■茨城県の外国人宿泊者数の推移



出典：観光庁　宿泊旅行統計調査　※H27年は11月まで

効果② 一般道が安全・快適に

●圏央道に交通が転換したことで、一般道がスムーズになり、急ブレーキの発生割合が減少

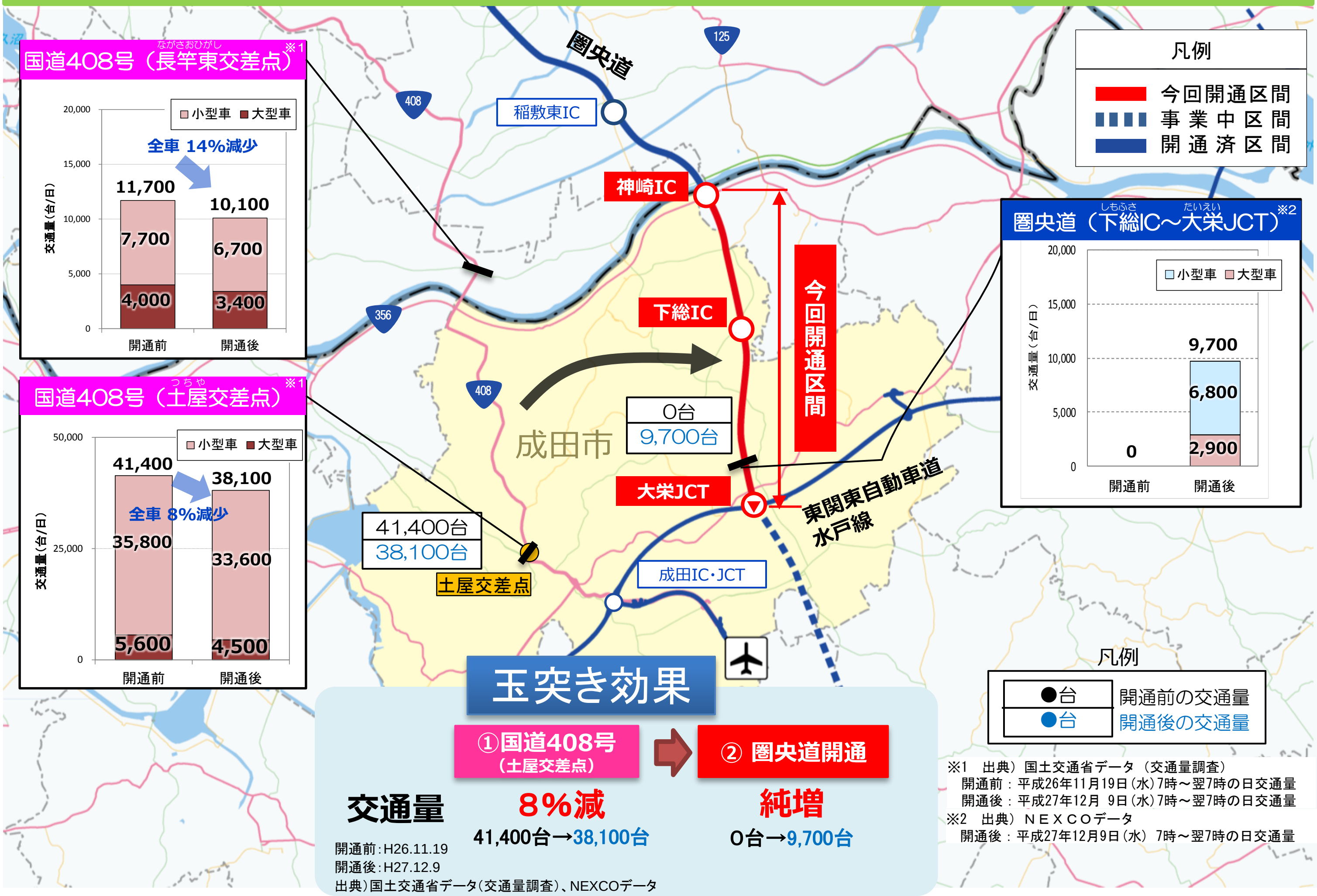
国道408号（土屋（つちや）交差点）の交通量 ：41,400台/日→38,100台/日 ［8%減］

国道408号（長竿東（ながさおひがし）交差点）の交通量 ：11,700台/日→10,100台/日 ［14%減］

●成田警察署管内（成田市）の一般道の交通事故発生件数※が前年比約４%減少

※物損事故件数及び人身事故件数の概数

一般道から圏央道へ交通が転換。周辺一般道の安全性が向上

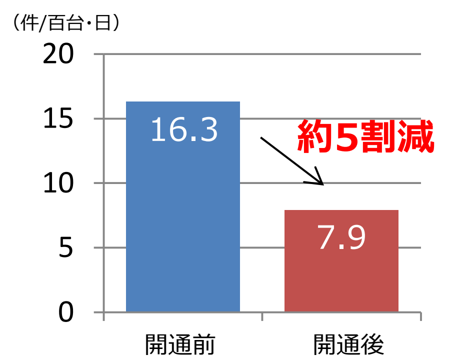


※1 出典）国土交通省データ（交通量調査）
開通前：平成26年11月19日（水）7時～翌7時の日交通量
開通後：平成27年12月 9日（水）7時～翌7時の日交通量

※2 出典）ＮＥＸＣＯデータ
開通後：平成27年12月9日（水） 7時～翌7時の日交通量

■急ブレーキ発生件数※の変化

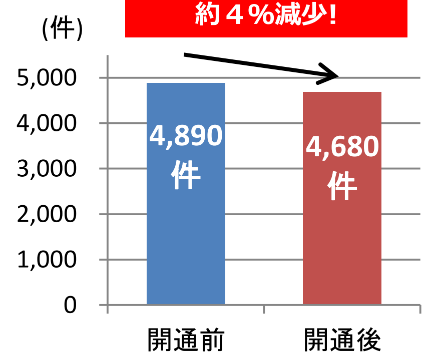
【国道408号 土屋（つちや）交差点】



開通前：H27.5
開通後：H27.7～H27.11
出典）ETC2.0道路プローブデータ
※：単位車両あたりの-0.3G以上の急減速発生回数

■交通事故発生件数の変化

【成田警察署管内（成田市）】



開通前：H26.1～H26.12
開通後：H27.1～H27.12
出典）成田警察署より提供

効果③　企業の生産性向上やﾄﾞﾗｲﾊﾞｰの労働環境改善に貢献

●１台のトラックが１日のうちに複数箇所への輸送が可能になるなど、トラックの稼働率が向上し、企業の生産性向上に寄与
●ドライバーの拘束時間の減少が見込めるなど、労働環境の改善に期待

成田空港への輸送時間短縮により、トラックの稼働率が向上

■開通前

別々のトラック２台で成田空港といわき市へ輸送

出典）所要時間はプローブデータの平日平均旅行速度を用いて算出
（開通前：H26.11プローブデータ、開通後：H27.11プローブデータ）
※成田空港～日立市役所間の国道51号経由ルートの所要時間を算出

■開通後

トラック1台で成田空港といわき市への輸送が可能に

出典）所要時間はプローブデータの平日平均旅行速度を用いて算出。
（開通前：H26.11プローブデータ、開通後：H27.11プローブデータ）
※成田空港～日立市役所間の圏央道経由ルートの所要時間を算出。

成田空港へ運送する物流企業の声

真崎運送（日立市）

・今までは、成田空港に精密機器等の工業製品を輸送すると、1日1回の輸送しかできませんでしたが、**会社に戻ってきた後に、再度、いわき市等に輸送することが可能**になりました。

物流会社（芝山町）

・急な発注時には、輸送時間が短縮できる圏央道を利用します。開通前の急な発注時と比較すると、**輸送時間が短縮した分、帰社の時間が早くなり、拘束時間の削減も期待**できます。

出典）平成28年1月　ヒアリング調査（常総国道事務所調べ）

効果④ 緊急・災害時の迂回が可能に「圏央道－東関東道経由」

●常磐道の通行止時に、つくば～箱崎間の迂回機能を圏央道・東関東道で発揮。
迂回により圏央道の交通量が約８割増加

複数ルートによるリダンダンシーの確保

＜通行止事象の概要＞

交通事故に伴い、常磐道（上下）
柏IC～谷和原IC間で通行止が発生

通行止時間：H27年10月10日(土)
4:45～14:00(下り線は11:00に通行止め解除)

◆大型トラックが、自損事故を起こして停車していた普通貨物車に追突。
◆事故発生直後より、事故情報がドライバーへ発信される。

＜常磐道事故発生時のつくばJCT～箱崎JCT間の所要時間（推定）＞

・常磐道利用　：約96分
（つくばJCT～谷和原IC～一般道※～柏IC～箱崎JCT）
※一般道は国道294号→国道6号→国道16号

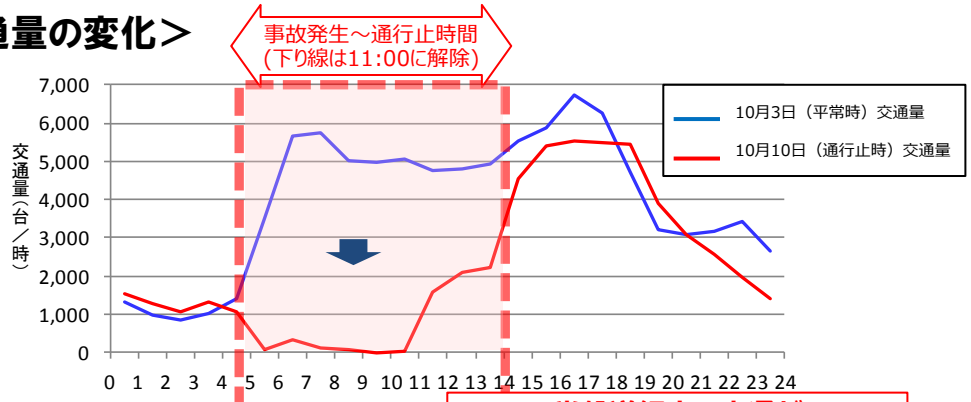
・圏央道・東関東道利用　：約84分
（つくばJCT～圏央道～東関東道～京葉道路～箱崎JCT）

【参考：通行止が発生していない場合】
・常磐道利用　：約50分

出典：車両感知器データ（トラカンデータ）（H27.10.3、H27.10.10の5～14時の平均）、
プローブデータ（H27.10の休日の5～14時の平均）より算出

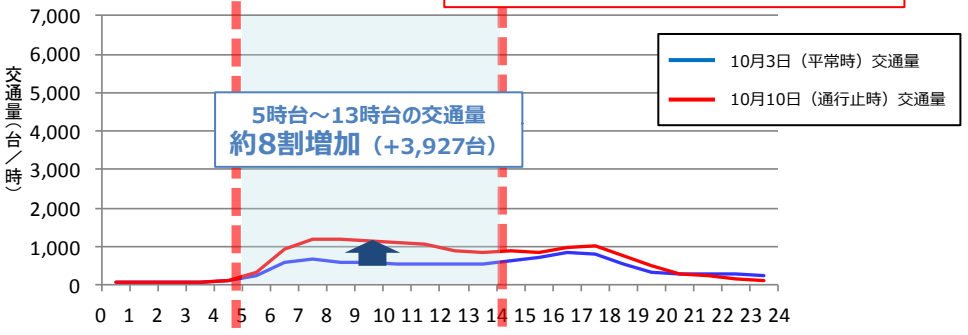
＜通行止前後の交通量の変化＞

常磐道
（柏IC～谷和原IC）

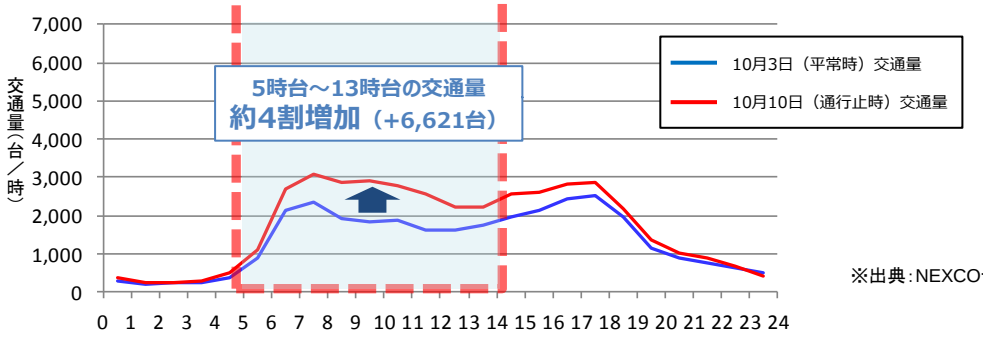


常磐道経由の交通が
圏央道－東関東道経由に転換！

圏央道
（神崎IC～下総IC）



東関東道
（大栄JCT～成田IC）



※出典：NEXCOデータ

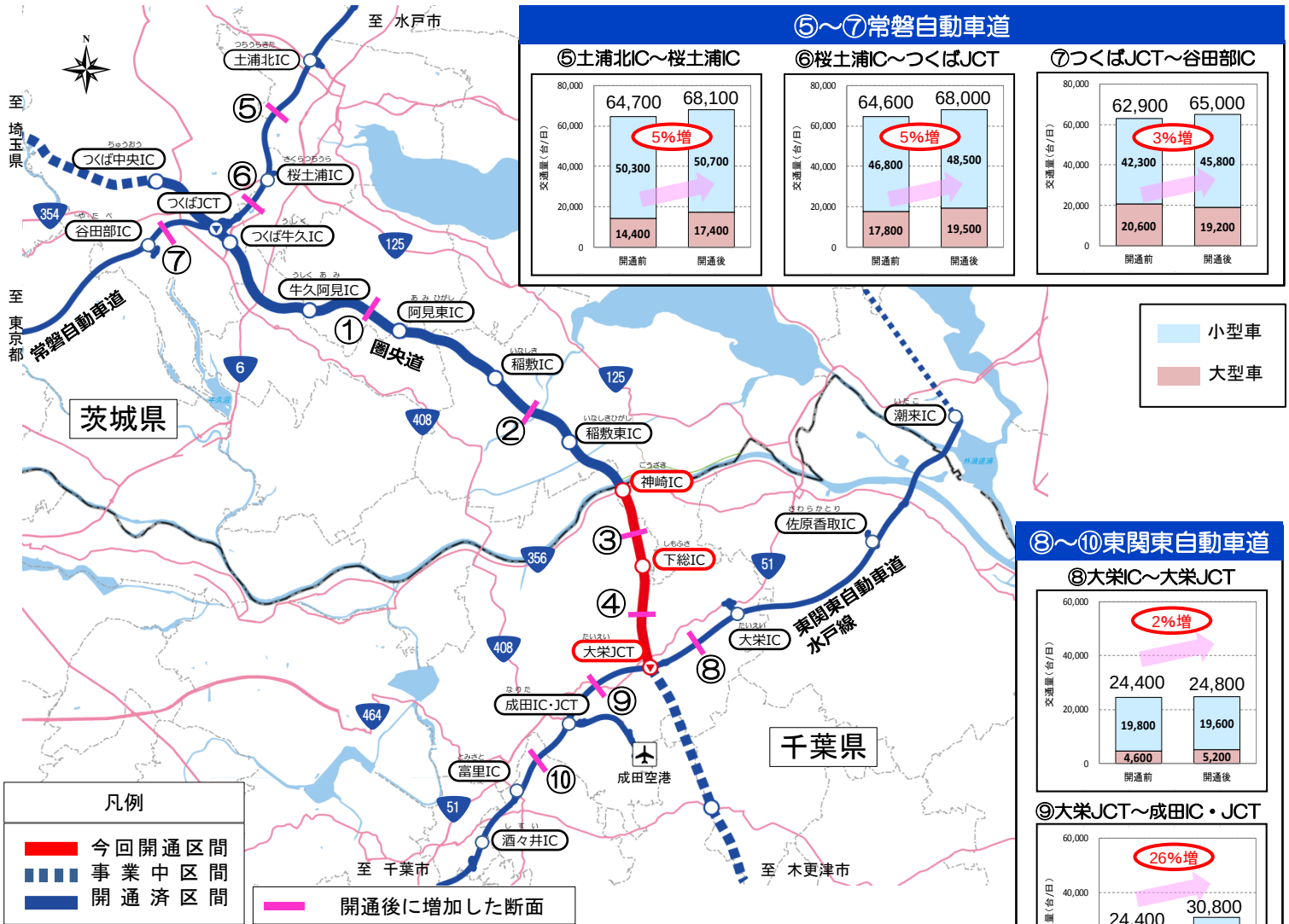
参考① 開通後の交通状況

●圏央道の開通後の日交通量は、平均9，300台/日

圏央道（神崎IC～下総IC間）　：　9,300台/日
圏央道（下総IC～大栄JCT間）　：　9,300台/日

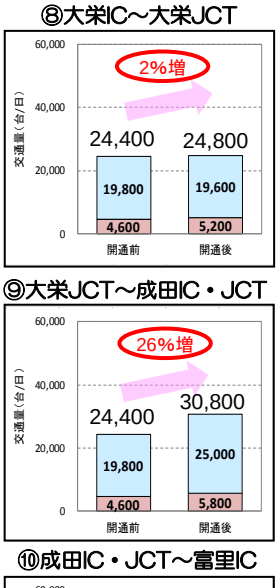
●これまで開通していたつくばJCT～神崎IC間の交通量は、対前年同月比較で増加。常磐道、東関東道の交通量は、対前年同月比較で増加

圏央道（稲敷IC～稲敷東IC間）　：　4,100台/日→ 10,900台/日[166%増]
常磐道（桜土浦IC～つくばJCT間）　：64,600台/日→ 68,000台/日[5%増]
東関東道（大栄JCT～成田IC・JCT間）：24,400台/日→ 30,800台/日[26%増]

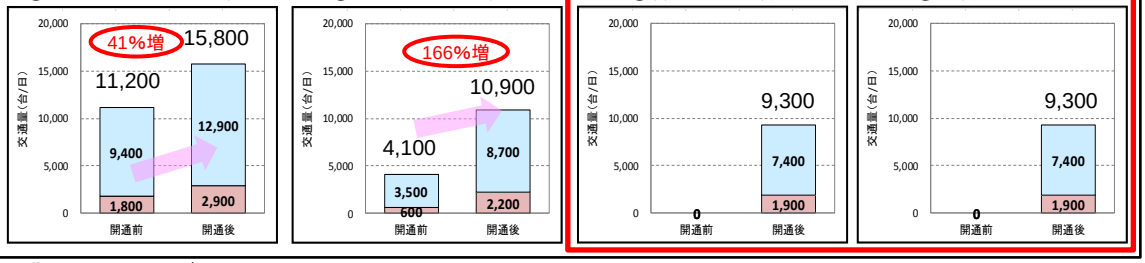


⑤～⑦常磐自動車道

⑧～⑩東関東自動車道



①～④ 圏央道



出典）ＮＥＸＣＯデータ
開通前：平成26年6月8日（日）～11月30日（日）の日交通量の平均値
開通後：平成27年6月8日（月）～11月30日（月）の日交通量の平均値

圏央道開通区間概要

● 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした、都心から半径およそ４０～６０ｋｍの位置に計画されている総延長約３００ｋｍの環状の自動車専用道路です。現在までに約２４１ｋｍが開通しています。

● 今回開通区間の概要

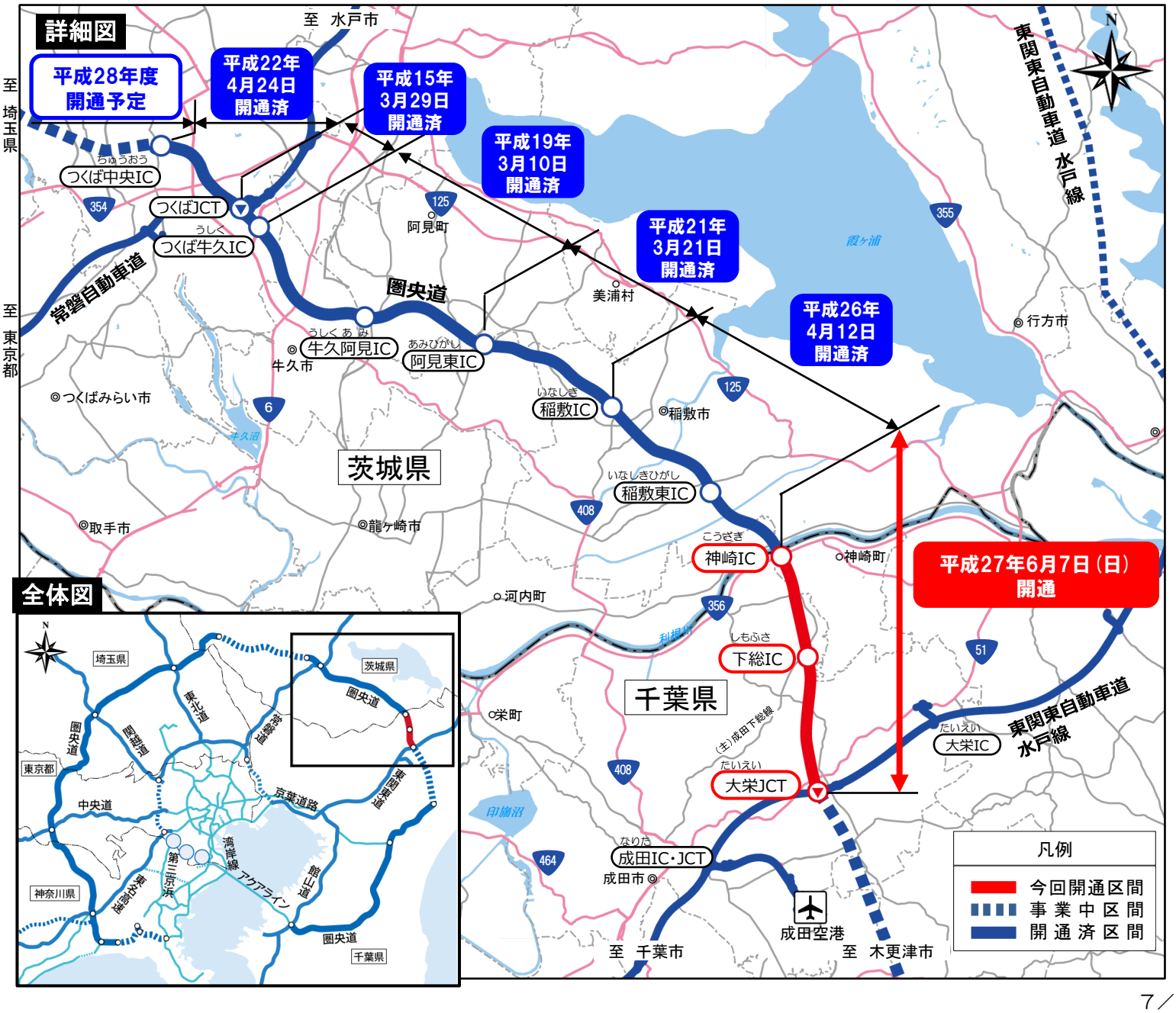
路　　線　　名：一般国道４６８号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

○開 通 区 間：神崎IC（千葉県香取郡神崎町松崎）～大栄JCT（千葉県成田市吉岡）

○開 通 日：平成２７年6月7日（日）１７時

○延 長：９．７ｋｍ

○車 線 数：暫定２車線

○開 通 IC（アクセス道路）：下総IC（(主)成田下総線）

■今回開通区間の位置図